ふくし志津

発行
志津地区社会福祉協議会
発行人　横山幹雄
編　集　広報事業部
事務所　佐倉市中志津2-32-4
西部地域福祉センター内
TEL 460-1781　FAX 463-4169

第一回福祉委員会　開催される

令和4年度の福祉委員会が5月15日（日）に南部地域福祉センター会議室で行われた。久しぶりの開催です。新型コロナの関係で、間隔を取るため、①13：00～　②15：00～の2回に分けて、開催された。

●事業計画　重点目標

前年度は「地域福祉コーディネーター」という初めての試みも導入されたが、相変わらずコロナ禍に振り回され、予定した事業計画も中止のものが多く消化不良となった。コロナ禍は簡単には収束されることはないという前提でウイズ・コロナという状況での事業運営が余儀なくされることになると思われる。ただコロナ禍で再確認された温かい繋がり・ふれあい・居場所づくりを目指す、我々の活動を市社協や行政と連携して一層進めていきたい。

志津地区社協は設立以来諸先輩が苦労され継承されてきた活動が着実に根付いており、コロナ禍の中でも本来の目的を見失うことなく、時代の要請を反映させながら工夫し、進化発展させていかなければならない。誰でもが生き生きと暮らせるまちづくりのために、自治会や町内会、まちづくり協議会や代表者協議会そして民生委員・児童委員や学校関係者等と協働し、市社協や他の福祉活動諸団体との協力関係をさらに強化していく。

福祉委員会風景

2年間中断を余儀なくされた「ふれ愛事業」のふれ愛喫茶や100円喫茶、「しづっ子クラブ」（学習支援とひまわりカフェ）など事業全般を工夫しながら再開を目指す。

年間続いた実施内容を基本的に継続していき、ふれ愛福祉まつりが再開できれば、その中でも実施も視野に入れる。

まだまだ十分に知られていない志津地区社協の活動を地区内外に積極的に発信してできるだけ多くの地域住民に評価して頂き、また更には福祉委員としての輪に加わって頂けるよう努力を続けていく。

令和4年度主な事業

◆本部
第28回ふれ愛福祉まつり
おじいちゃんおばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業・手芸品制作
◆志津4地区社協合同事業
少年野球・少年少女サッカー大会後援
施設訪問
◆研修事業部
福祉委員研修・ボランティア講座
日帰り研修
◆地域福祉事業部
地域の支えあい活動の促進、支援
まちづくり活動支援
◆高齢者（障がい者）福祉事業部
児童と高齢者との交流・世代交流会
◆児童（障がい児）福祉事業部
志津なかよし広場（人形劇、手話教室、手品等・ミニ門松作り）
学習支援・志津児童センター支援
◆ボランティア事業部
友愛訪問・街頭募金活動
◆100円喫茶事業部
100円喫茶（8会場）・おひさまカフェ
◆広報事業部
広報誌発行
◆ふれ愛センター
ふれ愛喫茶・ふれ愛サービス
（コロナの関係で変更の可能性があります）

令和４年度　志津地区社会福祉協議会　福祉委員名簿

*福祉委員総数130名

◇民生・児童委員(22名)

	氏　名	担当地域		氏　名	担当地域
1	吉田　孝一	上志津二区(北)	11	佐和田　優子	井野町一区（西）
2	佐藤　光代	上志津二区(南)	12	市橋　敬子	井野町一区（東）
3	真野　利江	ﾊｲﾎｰﾑ, ﾊｲﾎｰﾑ第2	13	松崎　裕美子	主任児童委員(志津北部地区)
4	松本　博子	井野西一区	14	枝松　幸四郎	東急上志津, ﾏｲﾀｳﾝ志津
5	日向　洋子	井野西二区	15	迫　和枝	日本信販団地
6	岸本　律子	井野西三区	16	佐々木とく子	上志津三区(南)
7	小林　和幸	京成すみれ会, 京成みどり会, 京友会	17	鈴木　チエ	上志津三区(北)
8	尾瀬　秀子	京成第一団地, 井野祥和団地, 富士見台国際, 稲荷山, 東映, 第2東映, 西ユーカリひまわり	18	岡部　治昭	上志津三区(西)
			19	橘　展生	コープ野村
9	猪野　美智子	井野南二区, 志津ｸﾞﾘｰﾝﾋﾙ, 西ユーカリが丘6・7上志津平和, ﾊﾞｽﾄﾗﾙﾊｲﾑ	20	清見　啓子	ﾛｰｽﾞﾀｳﾝ志津, 志津住宅
			21	蛯原　清	緑ヶ丘, 鉱住協
10	金子　和江	外山会, 井野ﾊｯﾋﾟｰ会	22	小野　玲子	志津ｸﾞﾘｰﾝﾊｲﾂ

◇福祉協力者(56名)

	氏　名	自治会・町会名		氏　名	自治会・町会名		氏　名	自治会・町会名
1	相川　裕一	緑ヶ丘団地	21	菅谷　光顯	井野町一区	41	藤原　恵子	井野南二区
2	飯田　ヤス子	井野町一区	22	菅原　芳枝	井野西三区	42	松本　憲子	京友会
3	石川　裕一	井野東	23	鈴木　國男	京成第一団地	43	三橋　きく江	井野町一区
4	稲垣　トモ子	コープ野村	24	須藤　千恵子	志津グリーンヒル	44	麦倉　弘	日本信販団地
5	岩渕　孟	上志津平和	25	髙椋　知子	上志津二区	45	森田　葉子	井野町一区
6	臼杵　哲	マイタウン志津	26	竹重　慶一	井野町一区	46	安田　章夫	東急上志津団地
7	柏木　昌夫	井野西一区	27	竹田　恵美子	井野西三区	47	山根　安子	上志津平和
8	金子　きち乃	井野西二区	28	多田　育子	井野西三区	48	吉田　みち子	井野南二区
9	唐澤　康人	京友会	29	千野　えみ子	井野町一区	49	和田　美根子	井野町一区
10	河内　文彦	上志津二区	30	塚本　香苗	井野西二区	50	猪熊　浩文	志津中校長
11	北澤　君夫	京成すみれ会	31	西巻　征二	東映団地	51	大橋　昭彦	上志津小校長
12	北澤　智佳子	上志津平和	32	野尻　謙一	井野町一区	52	宮本　正教	井野小校長
13	工藤　光代	井野西一区	33	橋本　允之	東急上志津団地	53	飯田　繁	志津中PTA会長
14	熊谷　和子	井野祥和団地	34	長谷川　大美	京友会	54	金子　保夫	上志津小PTA会長
15	釼地　平子	井野町一区	35	蜂谷　淳子	上志津二区	55	小林　清憲	上志津小PTA副会長
16	斉藤　啓子	上志津二区	36	林田　厚子	上志津二区	56	升ノ内　章夫	井野小PTA会長
17	佐久間さち子	井野西二区	37	平岡　幸江	ﾛｰｽﾞﾀｳﾝ志津駅前			
18	佐藤　照美	井野西三区	38	平田　真由美	井野南二区			
19	清水　かな子	井野南二区	39	福島　富士雄	志津住宅			
20	下里　雅弘	日本信販団地	40	藤澤　奎二	日本信販団地			

◇地区の福祉委員(34地区・40名)

	自治会・町会名	氏　名		自治会・町会名	氏　名		自治会・町会名	氏　名
1	上志津二区	小原　恵子	12	井野西三区	中村　泰三	24	京成すみれ会	中田　匡
2	上志津平和	渡部　直子	13	富士見台	渡辺　勝儀	25	外山会	長谷川シオリ
3	ﾊﾞｽﾄﾗﾙﾊｲﾑ佐倉志津	阿部　洋介	14	国際	江口　由紀絵	26	井野町一区	吉井　潤一
4	上志津三区	登尾　文雄	15	稲荷山	金澤　聰			横山　幹雄
		角　由夫	16	井野南二区	川野　美香子	27	鉱住協志津団地	伊藤　昇
		中俣　弘子			東海林　志乃	28	緑ヶ丘団地	山中　絵美子
5	東急上志津団地	加賀　司郎	17	井野祥和団地	石橋　宏亮	29	ﾊｲﾎｰﾑ志津駅前	星　あゆみ
6	ｺｰﾌﾟ野村志津	丹谷　千恵子	18	京成みどり会	斉藤　朗	30	ﾊｲﾎｰﾑ第二志津駅前	鈴木　義明
		早坂　多栄	19	京友会	藤田　めぐみ	31	志津住宅	菊池　千栄子
7	日本信販団地	横尾　和美	20	志津ｸﾞﾘｰﾝﾋﾙ	中村　泰光	32	志津ｸﾞﾘｰﾝﾊｲﾂ	秋山　典子
8	ﾛｰｽﾞﾀｳﾝ志津駅前	望月　佐知子			庄司　博子	33	井野ﾊｯﾋﾟｰ会	並木　美華
9	ﾏｲﾀｳﾝ志津	小松　敬治	21	東映	岩崎　哲	34	西ユーカリひまわり会	大沼　雄紀
10	井野西一区	安孫子　央	22	第二東映団地	吉村　日出夫			
11	井野西二区	角田　昂	23	京成第一団地	山森　裕一			

○志津地区社会福祉協議会　役員

役　職	氏　名	役　職	氏　名	役　職	氏　名
会　長	横山　幹雄	研修事業部副部長	林田　厚子	広報事業部長	下里　雅弘
副会長	安田　章夫	地域福祉事業部長	唐澤　康人	監　事	北澤　君夫
副会長(兼)	松崎　裕美子	高齢者(障がい者)福祉事業部長	小林　和幸	監　事	須藤　千惠子
事務局長	松崎　裕美子	児童(障がい児)福祉事業部長	清見　啓子	顧　問	蜂谷　淳子
事務局次長	塚本　香苗	児童(障がい児)福祉事業部副部長	熊谷　和子	顧　問	藤澤　奎二
会　計	髙椋　知子	ボランティア事業部長	渡部　直子	顧　問	長谷川　大美
志津北部地区代表者協議会代表(兼)	横山　幹雄	ボランティア事業部副部長	猪野　美智子		
志津北部地区民児協代表	松本　博子	１００円喫茶事業部長	佐久間さち子		
研修事業部長	柏木　昌夫	１００円喫茶事業部副部長	稲垣　トモ子		

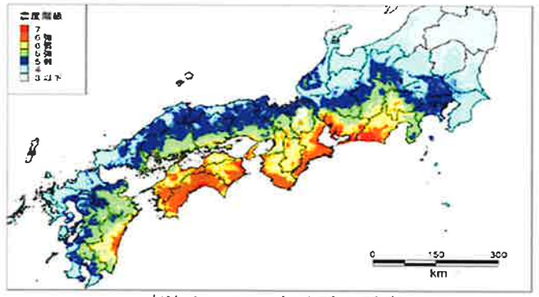
事務局員：山本紀子
〒285-0843　佐倉市中志津2-32-4　西部地域福祉センター内
火木）13：00-16：00　水金）9：00-11：30　Tel：460-1781　Fax：463-4169
西部地域福祉センターの休館日：月曜・12/28～31・1/1～4
（但し月曜日が祝日で開館した場合は、翌火曜日が代休）

30年以内に巨大地震が起こる確率70パーセント

近年、世界各地で地震や火山の噴火が頻発している。トンガの海底火山噴火や、インドネシアやハイチでのマグニチュード７を超える大地震。国内でも2022年1月だけで、東京・埼玉で震度5強を観測する地震や、大分県・宮崎県で最大震度5強を記録する地震が起き、緊張感が高まっている。

火山学、地球科学の第一人者、京都大学名誉教授の鎌田浩毅（かまた・ひろき）さんは、「今後日本で20年以内に起こるとされている大きな災害が3つあります。1つは、**南海トラフ巨大地震、もう1つは首都直下地震、最後は富士山の噴火です**」と言い切る。

、南海トラフ巨大地震。これは2035年からプラスマイナス5年、つまり2030～2040年の間に必ず起きると言っていいでしょう。規模をひと言で言うなら、2011年に起きた東日本大震災の10倍以上。東日本大震災の経済損失は20兆円と言われていますが、南海トラフ地震では220兆円以上、死者も32万人（東日本大震災は行方不明者含む約2万人）を超えると予測されています。地震の規模はマグニチュード9.1（東日本大震災はマグニチュード9）とあまり変わりません



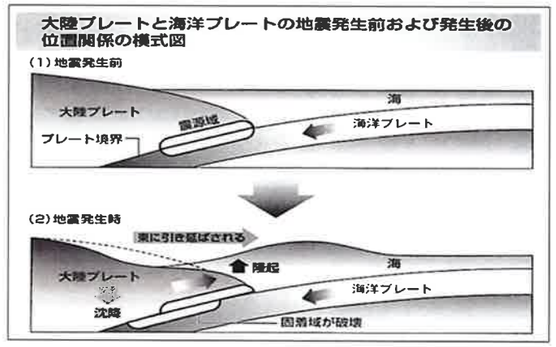
南海トラフ巨大地震の震度分布

が、被害がこんなに甚大なのは、東は静岡から西は九州まで、被害に遭う人口が多いからです。鎌田さんの推測によると、南海トラフ地震で予想される被災者数は6,000万人。日本国民の半分が被災するという。その中には、首都圏や太平洋ベルト地帯と呼ばれる産業の中心地も含まれており、経済的な被害も計り知れない。

鎌田さんが2番目に挙げる首都直下地震は、起きるタイミングが明確には分からない。しかし、「いつ起きてもおかしくない」と警鐘を鳴らす。首都直下地震で推測される経済損失はおよそ95兆円。日本の国家予算に近い額が地震で失われることになると、鎌田さんは推測する。そして、死者約2万3,000人、被災者は3,000万人と甚大だ。この2つの地震だけでも既に大きな被害が予想される。

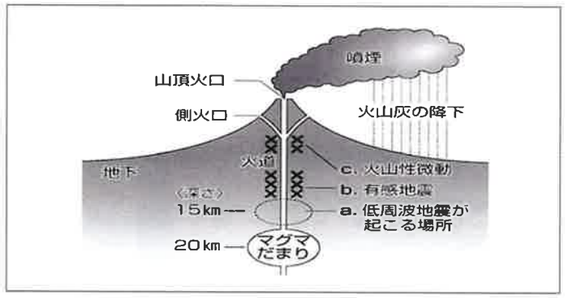
さらに、そこに追い打ちをかけるのが富士山の噴火だと鎌田さんは言う。

「現在の富士山の状況は、マグマがパンパンに詰まった噴火スタンバイ状態。富士山には30年



に1回噴火すればいいくらいのマグマが地下から少しずつ供給されています。それが、これまでは約100年単位で噴火を繰り返していました。その中で大規模な噴火だったのは、1707年に起こった宝永（ほうえい）大噴火です。これは、200年のスタンバイ期間を経ての噴火でした。現在は、そこから300年以上経っています。たまっているマグマの量から単純計算すると、次回の噴火規模は宝永大噴火の1.5倍くらいと考えるのが妥当でしょう」

「富士山噴火の被害総額は、2兆5,000億円と言



われていますが、これは17年前の数字で過小評価だと考えています」

宝永大噴火の際には、江戸に5センチメートル、横浜で10センチメートルもの火山灰が降り積もったとされている。

ガラスの破片と同じ物質である火山灰は、人の呼吸器に入れば健康に甚大な影響を及ぼし、コンピューターに入れば通信機能がダウンする。電車や車も走ることができなくなり、ライフライン全てが停止し都市機能そのものが失われる可能性がある。

鎌田さんが繰り返し強調していたのが、**「一人一人の備え」の重要性**だ。これだけの災害が起こったとき、いかに国や自治体が地震や噴火に備えたからといってできることは限られている。実際の生死を分けるのは、いかに一人一人が備え、行動できるかにかかっている。

（参照）：日本財団ジャーナル編集部

志津地区社会福祉協議会令和４年度予算書

収入　（単位：千円）

項　目	金額	説　明
市社協支出金	1,550	＊会費還元金
佐倉市出金	200	おじいちゃんおばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業交付金
事業収入	300	１００円喫茶、ふれ愛福祉まつり
寄付金等	50	愛の箱、祝儀
繰越金	1,088	
福祉積立金より	150	事業費引当金
合計	3,338	

支出　（単位：千円）

項　目	金額	説　明
進常費	1,022	
会議費・事務費・事務局費	917	
交通費・雑品費・渉外費	105	
事業費	1,335	
本部運営事業	350	
研修事業部	200	
地域福祉事業部	25	
高齢者（通がい者）福祉事業部	110	
児童（障がい児）福祉事業部	100	
ボランティア事業部	110	
１００円喫茶事業部	240	
広報事業部	200	
ふれ愛事業	450	ふれ愛写真支援金
繰越金（当期事業引当）	531	
合計	3,338	

編集後記

コロナ禍の下で、各事業部は、水面下の事業ばかりで広報誌に載せるものがありません。◆そこで、今回は身の回りの危険（ハザード）についての特集記事を作りました。◆「天災は忘れたころにやってくる」寺田寅彦の有名な警句です。◆各自自分の命は自分で守る準備を常にしておきましょう。

～ みんなでいきいき暮らせる町を！ ～

長引くコロナ下での生活も３年目に入り、マスク着用も手指消毒も当たり前のことのように身についた感のあるこの頃です。
皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

志津地区社協の活動もこの間自粛を余儀なくされ、さまざまな場面でお目にかかっていた皆さまとご一緒する機会も失われ、毎日の生活から活気や笑顔までが減少したように思われます。

しかしワクチン接種も進む中、今年度は細心の注意を払いながら少しずつ活動を再開できるよう模索しているところです。

住み慣れた地域の中で住民同士が助け合い、支えあって暮らしていくために、色々な交流の場や支え合いのサービスが再開、提供できることを目指し活動して参ります。

そして、その実現には皆さまのご理解とご協力が是非とも必要です。
地域住民同士のつながりにより「孤立」を防ぐなど、支えあう地域福祉活動を推進するためには皆様からご協力いただく【**会費**】が必要です。

どうぞご協力くださいますようお願いいたします。

会費５００円の使い道

会費　５００円の使いみち

佐倉市社協が推進する配食サービス、移動サービスやボランティア活動等の活動費へ　２００円

あなたの住んでいる地域の**地区社協**へ　３００円